## ２　地域福祉活動推進部門

### （1）福祉教育・啓発活動

①　広報・啓発紙の発行

| 種　類 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 社　協　だ　よ　り | 7、１２、3月 | ― | １　第１４１～１４３号　市内全戸配布<br>２　従来の４頁から６頁に増やすとともに、表表紙と裏表紙をカラー刷りとした。 |
| 点字版社協だより | 7、１２、3月 | 対象者<br>25 名 | 点訳サークル「きつつき」に作成を委託し、市内視覚障害者の希望者に配布した。 |

②　地域福祉セミナーの開催

| 回　数 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| １回目 | １１月２１日（金） | １７名 | １　参加者交流<br>２　講義　直方の歴史と文化について<br>(講師) 歴史ボランティア・直方を語る会「とおれんじ」<br>代 表　増井 幸憲 氏 |
| ２回目 | １２月 7日（日） | ２８名 | 心をつなぐ人と人のボランティア活動<br>（講師）北九州市障害福祉ボランティア協会<br>事務局長　黒岩　淳 氏 |
| ３回目 | １２月１８日（木） | １８名 | 介護予防活動について（見学）<br>（説明）新入にこにこクラブ（川東公民館）<br>世話人　田中 玲子 氏 |
| ４回目 | 1月 9日（金） | １９名 | おもちゃ図書館って何？<br>（講師）福岡県立大学付属研究所<br>生涯福祉研究センター<br>助手（おもちゃ図書館たがわ代表）中藤<br>広<br>氏 |
| ５回目 | 1月２３日（金） | ２０名 | 精神障害者の作業所見学<br>（説明）特定非営利活動法人 なおみの会<br>理事長　立山 利博 氏 |
| ６回目 | 2月 6日（金） | １４名 | あなたならどうする？～防災意識の向上について<br>（講師）直方市市民協働課協働推進係 |
| ７回目 | 2月２０日（金） | １７名 | シニアライフをいきいき送るには<br>～新しい地域活動の始め方～<br>（講師）特定非営利活動法人 ＮＡＰ福岡<br>代表　馬場 邦彦 氏 |
| ８回目 | 3月６日（金） | １１名 | グループワーク～これからの地域福祉活動～ |

③　社会啓発行動

| 事業名等 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 第３３回よこいと運動会実行委員会 | ４月２５日（金） | １９名 | １ 実行委員長の選出<br>２ 日程、会場、競技内容、役割分担等について |
| 第３３回よこいと運動会 | ６月　１日（日） | 24 団体、個人 357 名 | 大玉ころがし、アベック風船割りなど<br>会場：直方市体育館 |
| 第３３回よこいと運動会反省会 | ６月２６日（木） | １０名 | ― |
| 福祉まつり実行委員会 | ８月２８日（木） | ２１名 | １ 実行委員長の選出<br>２ 日程、会場、内容、役割分担等について |
| 福祉まつり | １０月２６日（日） | 950 名 | 参加団体：２１団体<br>協力団体、企業：１５団体、２社<br>協賛企業：１８社 |
| 福祉まつり反省会 | １１月１２日（水） | １４名 | ― |
| 日曜出会いの広場「もちつき会」 | １２月２１日（日） | ６０名 | 協力：直方市ボランティア連絡協議会 |

④　実習生・視察研修等の受け入れ

| 学校名等 | 期　間 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 西南女学院大学 | ６月１日（日）<br>～１７日（火） | １名 | 社会福祉援助技術現場実習 |
| | １１月４日（火）<br>～１９日（金） | １名 | 社会福祉援助技術現場実習 |
| 大和青藍高等学校 | ７月１５日（火）<br>～<br>１０月１５日（水） | １４名 | 訪問介護実習 |
| 麻生医療福祉専門学校 | ７月２２日（火）<br>８月２０日（水） | １名 | 訪問介護実習 |
| 鞍手竜徳高等学校 | １０月１６日（木）<br>～３０日（木） | ３名 | 訪問介護実習 |
| 民生委員児童委員協議会心身障害部会 | １１月１１日（火） | ２１名 | 民生委員と社会福祉協議会の連携について |

（２）調査・研究

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 社協だよりの活用によるニーズの把握 | 3月 | ― | ３月１日付発行の第１４３号において、読者に情報提供を呼びかけた。 |
| 父子世帯実態調査 | ― | ― | 市が策定している直方市次世代育成支援行動計画（平成１７～２１年度）の次期計画策定のためのアンケート調査が３月に実施されたため、当調査結果を活用することとした。（平成２１年度継続実施） |

（３）小地域福祉活動の推進、支援

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 校区社協活動への助成 | ― | ― | 西・南・新入・下境・感田の５校区社協に活動費を助成した。 |
| 福祉入門教室Ⅰ<br>（福祉人材バンク及び西校区社協との共催） | １２月１４日（日）<br>２月１４日（土） | ５５名<br>３０名 | 救急救命を学ぶ<br>講師：直方市消防本部 救急救命士<br>会場：山部一区公民館ほか |
| 福祉入門教室Ⅱ<br>（福祉人材バンク及び感田校区社協との共催） | １１月２３日（日）<br>２月１１日（水） | 117 名<br>２３名 | 「高齢者の運動、体力について」<br>講師：小野外科胃腸科医院 青木真一 氏<br>「食と健康」<br>講師：大和青藍高等学校 調理科教諭<br>矢野　悦子氏<br>「福祉員研修会」<br>会場：感田三区公民館 |

（4）ボランティアセンターの運営

| 業務名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| ボランティアルームの提供 | 通 年 | ― | 提供件数：１４５件 |
| ボランティア活動の登録・斡旋 | 通 年 | ― | 相談件数：４４件<br>個人登録数：７４名<br>団体登録数：１７団体 |
| 第３４回直方ボランティアのつどい | 3月２０日（金） | ４５名 | 直方市ボランティア連絡協議会との共催による風船バレーボール及び交流会<br>会場：直方西小学校体育館ほか |
| ボランティア活動保険料の助成 | 通 年 | 延べ<br>234 名 | 年間保険料一人あたり２６０円のうち、１００円を助成した。 |
| 活動資材の整備・貸し出し | 通 年 | ― | 点字タイプ、綿菓子機、餅つき道具、アイマスク等の貸し出しが２２件あった。 |
| 直方市ボランティア連絡協議会の支援 | 通 年 | ― | 定例会での情報提供や同協議会主催行事に関する連絡調整等を行った。 |
| 高等学校「ボランティア講座」の指導援助 | 5月～１０月 | １０名 | 筑豊高等学校３年生の課題研究としてボランティア講座を選択した生徒に対する指導援助を行った。<br>協力：直方市身体障害者福祉協会聴覚部会<br>直方手話の会「こぶしの会」 |
| 小学校校外学習支援 | １０月２１日（火） | ― | 植木小学校４年生の生徒に対して、障害当事者の講演並びに車いす体験を実施した。 |

（5）おもちゃ図書館の運営

| 業務名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 視察研修 | 4月３０日（水） | １３名 | スタッフ会（ボランティアスタッフ）と共に先進地のおもちゃ図書館を視察した。<br>視察先：おもちゃ図書館ピノキオ（若松区） |
| | 5月　8日（金） | １２名 | 視察先：おもちゃライブラリー（小倉南区） |
| | 5月２７日（火） | 3名 | スタッフ会会員が、布の絵本作成グループ「もめんの会」を視察した。 |
| | 6月　6日（土） | 3名 | 視察先：おもちゃライブラリー（小倉南区） |
| 通常利用 | 7月２９日（火）<br>～ | 206 名 | 月平均：２２．９名<br>開館日数：４２日<br>※毎週火曜日、１１月から第2、4土曜日も開館 |
| おもちゃの貸し出し | １１月～ | ９０点 | 月平均：１８点 |

（６）当事者組織・団体、社会福祉関係団体の支援

| 業務名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 事業に対する助成 | ― | ２１団体 | 共同募金Ｂ枠配分金を活用 |
| 小規模作業所の援助 | ― | ― | なおみの会共同作業所への活動費の援助（共同募金Ａ´枠配分金を活用） |
| ふくしバスの運行 | 通 年 | 延べ774名 | 利用件数：３９件 |
| 障害者問題を考える直方市連絡会議への協力 | 通 年 | ― | 定例の常任委員会での情報提供や当団体主催事業に関する連絡調整等を行った。 |

（７）赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動への協力と実施

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 赤い羽根共同募金街頭募金 | １０月　５日（日） | ― | 福岡県共同募金会直方市支会が実施する街頭募金に協力した。 |
| 福祉まつり | １０月２６日（日） | ― | 赤い羽根共同募金啓発用パネルの展示・紹介やイベント募金に協力した。 |
| 歳末たすけあい配分委員会 | １２月２４日（水） | ７名 | 平成２０年度歳末たすけあい募金配分計画について |
| | １月１６日（金） | ７名 | 平成２０年度歳末たすけあい募金配分計画について |
| 歳末見舞品贈呈事業 | １２月 | 1,445名 | 民生委員児童委員協議会の協力により、70歳以上の独居者（生活保護世帯を除く）に対して風呂用石鹸を贈呈した。 |
| 地域支援事業 | ― | １１校区 | 前年度歳末募金の一部を原資として、各校区の事業（行事）に対して助成を行った。 |

## ３　福祉サービス利用支援部門

### （１）障害者相談支援センターるーぷるの運営（直方市・宮若市・鞍手町・小竹町2市2町受託事業）

| 事 業 名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 相談（面接・電話・訪問・メール） | 通 年 | 延べ<br>1,429 件 | 身　体：１１７件<br>精　神：１，１４９件<br>知　的：１４９件<br>その他：１４件 |
| 当事者相談（ピアカウンセリング） | 第１、３土曜日<br>第２、４木曜日 | 延べ<br>７１名 | 肢体、視覚、聴覚、内部疾患、精神の５分野で当事者（ピアカウンセラー）の協力を得て実施した。（全６４回） |
| 知的障害者相談 | 随 時 | 延べ<br>１０名 | 生活全般のことについて継続して相談を受けた。 |
| サービス利用計画の作成 | 通 年 | ２名 | 障害者自立支援法に基づく福祉サービス等の利用に関する計画作成及びモニタリング |
| 交流広場「７番地」 | 通 年 | 延べ<br>912 名 | るーぷる利用者の交流の場<br>身体：　５９名<br>精神：６７７名<br>知的：１７６名 |
| 交流行事 | １１月１６日（日） | ２８名 | バスハイク（響灘緑地グリーンパーク） |
| 広報誌「るーぷる」の発行 | ６、９、12、３月 | ４回 | 第７号～１０号を発行し、直鞍２市２町の公的施設や関係団体等に配布 |
| 見学説明会 | ６月２８日（土） | ２２名 | 交流広場「７番地」を解放するとともに、初めて来所された方に業務案内を行った。 |
| ピアカウンセラー研修会 | ４月１７日（水） | １２名 | ピアカウンセリングについて考える<br>講師：北九州市立大学 文学部 人間関係学科<br>准教授　小賀 久 先生 |
| | ９月　９日（火） | １０名 | ピアカウンセリングの場の持ち方について考える<br>講師：北九州市立大学 文学部 人間関係学科<br>准教授　小賀 久 先生 |
| ピアカウンセラー会議 | ３月１９日（木） | ９名 | 実績報告及び２１年度のピアカウンセリングの考え方について |
| 運営協議会 | ６月２３日（月） | １１名 | １　委員補充による新任委員委嘱状交付<br>２　平成１９年度事業報告及び平成２０年度事業計画について |
| | ２月２４日（火） | １２名 | １　任期切れに伴う新委員委嘱状交付<br>２　会長・副会長の選任について<br>３　平成２０年度事業報告及び平成２１年度事業計画について |
| 支援センター連絡会への参加 | 月１回 | ― | ２市２町行政、障害者支援センター「すきっぷ」「ファイン」及び福岡県央障害者就業･生活支援センターとの連絡会に参加した。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ケア会議等への参加 | 随 時 | ― | 精神科病院や社会復帰施設等からの要請に応じて参加した。 |
| そ　の　他 | ５月～１０月 | ― | 宮若市、直方市の福祉まつりで、るーぷるの紹介を行った。 |

（２）日常生活自立支援事業の生活支援員業務（旧地域福祉権利擁護事業、県社協事業の一部受託）

| 業務名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 金銭管理サービス | 通 年 | ２名 | 事業者である福岡県社会福祉協議会との契約により、本会職員１名が生活支援員として金銭管理サービスを実施した。<br>利用件数：２４件 |

（３）認知症相談の実施

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 認　知　症　相　談 | 第４水曜日 | ３名 | 協力：認知症の人と家族の会直方 |

（４）直方市障害者在宅福祉サービス状況調査業務（直方市からの一部受託）

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 住みよか事業 | 通 年 | １名 | 利用希望者に対する訪問調査並びに申請の代行を行った。 |
| 日常生活用具等給付事業 | 通 年 | ２名 | 同事業のうち、住宅改修に係る部分について、申請の代行を行った。 |

（5）生活福祉資金貸付業務（県社協事業の一部受託）

| 業務名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 相　談 | 通 年 | ５４件 | 生活費　２８件　、　資格取得費　５件<br>生業費　　７件　、　療養費　　４件<br>修学費　　５件　、　その他　　５件 |
| 貸　付 | 通 年 | ― | 承認７件　―　決定額合計 2,328,000 円<br>＜内訳＞<br>更生資金（技能修得費）　500,000 円<br>修学資金（修学費、就学支度費）438,000 円<br>療養・介護資金（療養費）　390,000 円<br>緊急小口資金（４件）　400,000 円<br>離職者支援資金　600,000 円<br>不承認２件<br>更生資金（生業費）申込金額 2,800,000 円<br>緊急小口資金　申込金額　100,000 円 |
| 償　還 | ― | ― | 元金　1,295,280 円<br>貸付利子　92,580 円<br>延滞利子　255,000 円 |
| | ６月２４日（水） | ６件 | 県社協担当職員２名と共に、滞納者６人の自宅を訪問し、うち４人に対して償還指導を行った。 |

## ４　在宅福祉サービス部門

### （1）移動送迎支援事業

| 業務名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 移送サービス | 通 年 | 延べ<br>245 名 | 登録者数：４２名<br>利用件数：４４７件 |
| 運営委員会 | 3月１８日（水） | ６名 | １ 平成２０年度事業報告について<br>２ 平成２１年度事業について |

### （2）配食サービス事業

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 配食サービス（独自事業） | 毎週水曜日 | 登録者<br>１２名 | 昼食を宅配<br>調理：頓野「花仙」<br>配達：ボランティア（５名）<br>延べ配食数：４２３食 |
| 直方市配食サービス事業（市委託事業） | 月～土曜日 | 延べ<br>1,966 名 | 夕食（弁当）を週６回㈪~㈯の範囲で宅配<br>調理及び配達：㈱ランチサービス<br>㈲景光園<br>延べ配食数：３４，４７１食 |

（３）車いすの貸し出し

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 車いすの貸し出し | 通 年 | ― | 貸し出し件数：３１件<br>述べ貸し出し数：７８台 |

（４）介護サービス事業

①　居宅介護等事業

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| ケアプランサービス | 通 年 | 延べ<br>306 名 | 居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう居宅サービス計画を作成し、居宅サービス事業者との連絡調整を行った。 |
| ホームヘルプサービス（介護保険） | 通 年 | 延べ<br>187 名 | 介護予防として、要支援１及び２の被保険者に対して、介護予防サービス計画に沿って介護予防訪問介護サービスを行った。<br>訪問延べ回数：１，２７７回 |
| | | 延べ<br>204 名 | 要介護１～５の被保険者に対して、居宅サービス計画に沿って訪問介護サービスを行った。<br>訪問延べ回数：２，８３８回 |
| ホームヘルプサービス（障害者自立支援法） | 通 年 | 延べ<br>181 名 | 在宅障害者の生活援助のため居宅介護サービスを行った。<br>訪問延べ回数：２，０１６回 |

②　直方市受託事業

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 要介護認定調査事業 | 通 年 | 延べ<br>８８名 | 要介護認定申請者に対して訪問調査を実施した。 |
| 生活管理指導員派遣事業 | 通 年 | 延べ<br>151 名 | 介護保険認定で自立と認定されたものの、身体上又は精神上の障害等により日常生活を営むのに支障のある高齢者の属する世帯に対して生活管理指導員を派遣した。<br>延べ利用時間数：５１０時間 |
| 移動支援事業（ガイドヘルプ） | 通 年 | 延べ<br>６９名 | ― |

③　研　修

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 介護事業所従事者研修 | ４月１１日（金） | １１名 | ボディメカニクスについて<br>講師：介護老人保健施設サンフラワーズ北九州<br>作業療法士　松尾 恵美 氏 |
| | ５月２４日（土） | ２名 | 介護支援専門員協議会主催の介護保険学習会に参加した。<br>会場：直方市中央公民館 |
| | ５月２８日（水）<br>９月１９日（金） | １名 | 福岡県主催の集団指導に参加した。<br>会場：ウェルとばた（北九州市） |
| | １１月２２日（土） | ３名 | 高齢者の「食」と「排泄」に関する勉強会主催の勉強会に参加した。<br>会場：鞍手町中央公民館 |

## ５　総合福祉センターの運営

### （１）一般利用等

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 一　般　利　用 | 通 年 | 延べ<br>25,050 名 | 月平均：２，０８８名<br>日平均：８５名 |
| 福祉バスの運行 | 通 年 | 延べ<br>9,773 名 | 運行日数：２９３日<br>月 平 均：８１３名<br>日 平 均：３３名 |

### （２）健康増進活動の推進

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 健　康　相　談 | 第２火曜日<br>第４金曜日 | 延べ<br>３４件 | 筑豊病院及び西尾病院の協力により実施した。 |
| にこにこ教室 | 毎週水・木・金曜日 | 延べ<br>1,674 名 | 健康体操やレクリエーションなど |
| | １０月１３日（月） | １６名 | 百道浜へバスハイク |

（３）教養娯楽活動の推進

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 会議室等の貸し出し | 通 年 | ６２回<br>1,619 名 | ― |
| 趣味の会活動支援 | 通 年 | ― | 囲碁部、舞踊部、園芸盆栽部、俳句部へ活動費を助成した。 |
| 夏 の 演 芸 大 会 | ６月２５日(水) | ７５名 | カラオケ、踊りなど |
| 秋 の 演 芸 大 会 | １１月　５日(水) | ８０名 | |
| 春 の 演 芸 大 会 | ３月１７日(月) | ７０名 | |

（４）運営の抜本的見直し

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 総合福祉センター運営見直し委員会 | ６月２０日（金） | １０名 | １　委員長、副委員長選出<br>２　諮問事項について |
| | ７月２３日（水） | ９名 | １　報告事項<br>①　入館者の意向調査結果について<br>②　報告書の概要説明<br>２　検討事項<br>①　運営のための財源の見通し等について<br>②　入浴事業及び福祉バス運行継続可否の判断について<br>③　今後の新たな経営・運営戦略について |
| | ８月２５日（月） | １０名 | 検討及び取りまとめ |

## ６　その他

行政施策への参加・参画

| 事業名 | 実施日 | 人数等 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 第４期直方市高齢者保健福祉計画･介護保険事業計画策定検討委員会 | ６月　５日（木）<br>他５回 | １名 | 第３期計画の進捗状況の確認及び第４期計画の策定について ほか |
| 直方市障害者施策推進協議会 | ５月１６日（火）<br>１２月　５日（金） | １名 | 第２次直方市障害者福祉基本計画の進捗状況の確認等について ほか |
| 一人暮らし高齢者等見守り事業 | ７月　３日（木） | ３名 | 県主催の説明会に出席 |
| | ７月１８日（金） | ３名 | 市主催の担当者会議に出席 |
| 鞍手保健所運営協議会精神保健福祉部会 | １２月　８日（月） | １名 | 平成２０年度精神保健福祉事業報告、平成２１年度同事業計画 ほか |